

浦臼町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

浦臼町は北海道の中西部、空知管内のほぼ中央に位置し、農業を基幹産業とした人口1,600人を下回る町である。浦臼町を南北に走る国道275号を主要道路とし、石狩川の対岸にある奈井江町へ続く道道278号(浦臼奈井江線)及び道道139号(江別奈井江線)によって国道12号と結ばれている。

浦臼町の地域公共交通は、これまで様々な民間事業者の撤退がありながらも、町民の交通手段の維持・確保に努めてきた。令和4年10月には中央バス滝川浦臼線の廃止に伴い、浦臼町の地域公共交通体系の大きな見直しを実施した。

当町は町内に高校がないため学生は町外へ通学しなければならない状況にあり、町内の医療機関は診療所と歯科のみであるため町外にある総合病院への通院する者も多く、町外への地域公共交通システムの構築は必要不可欠である。

また、町民の高齢化も進み「ドア・トゥ・ドア」での輸送需要も高くなってきており、町内の移動手段として「乗合タクシー」及び「一般営業タクシー」を運行するなど、安心して浦臼町に住み続けてもらうための交通を構築している。

町内の人口は減少傾向にあるものの、地域公共交通の利用は年々増加していることから、今後も町内外の地域公共交通手段の維持は必要であると考えます。

町内の居住者はもちろんのこと来訪者も含め、地域公共交通を『安心して誰でも便利に利用でき住みやすい「浦臼町」へ』を目標とし、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進める。

生活交通確保維持改善計画の目標

浦臼砂川線輸送人員 7,200人/年
乗合タクシー輸送人員(鶴沼・晩生内線) 1,300人/年

令和6年度事業概要

浦臼砂川線 えみる～奈井江駅～砂川駅(鶴沼経由) 運行日数364日 運行回数1,763.5回
乗合タクシー 浦臼町全域を運行区域とする 晩生内方面: 8往復便(約41km²) 鶴沼方面: 7往復便(約33km²)

地域公共交通の現況

【(株)美唄自動車学校】

- 浦臼砂川線(平日10便、休日9便)
えみる～奈井江駅～砂川駅(鶴沼経由) 20.6km

【(株)ビジコー】

- 乗合タクシー事業 晩生内方面: 8往復便(約41km²)
鶴沼方面: 7往復便(約33km²)

【町営バス】

- 浦臼滝川線(平日4往復、休日3往復)
浦臼駅～滝川駅 19.7km
- 浦臼砂川線(平日2便)
えみる～奈井江駅(鶴沼経由) 12.2km

【スクールバス一般利用有償運行】

- 浦臼中心部と各方面を連絡
- 晩生内及び鶴沼方面(登校便1便、下校便2便)

【JR札沼線廃止に伴う代替バス】

- 月形浦臼線(平日5往復、休日4往復)
浦臼駅～月形駅

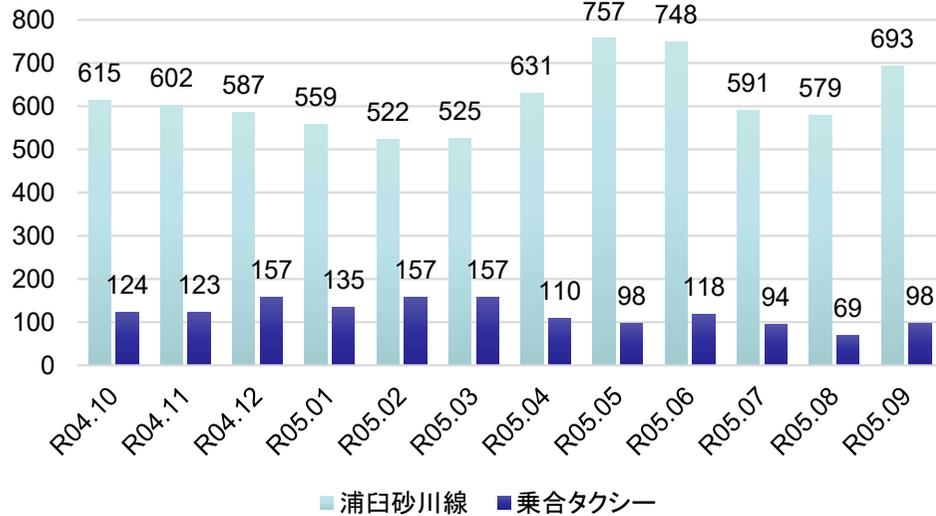
協議会開催状況

令和6年5月17日 第1回浦臼町地域公共交通会議
運行状況報告、生活交通確保維持改善計画について

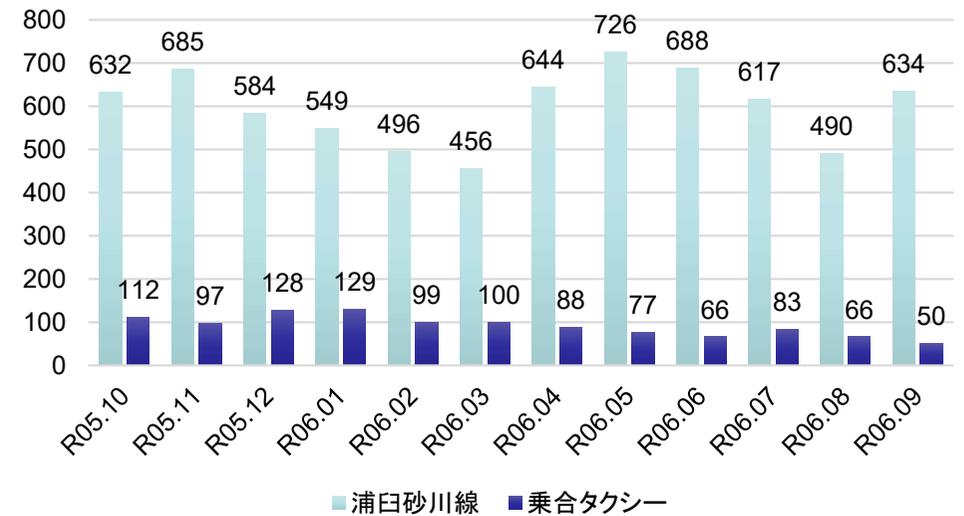
令和6年12月24日 第2回浦臼町地域公共交通会議
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

3) 利用実績

令和5年度

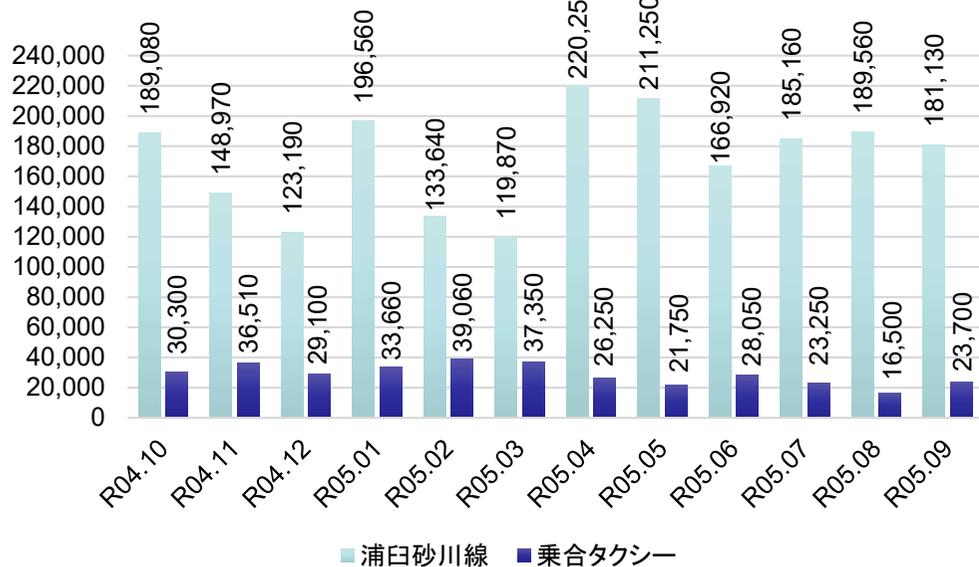


令和6年度

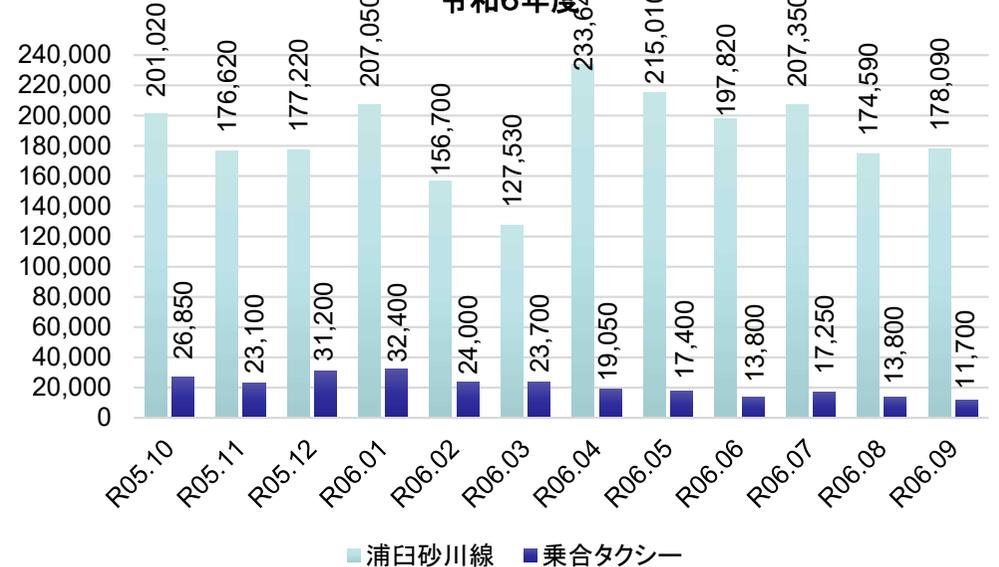


4) 収入実績

令和5年度



令和6年度



5) 事業実施の適切性

【浦臼砂川線】

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

【乗合タクシー】

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

【浦臼砂川線】

ダイヤ改正等の必要が生じた際には、運行ダイヤの全戸配布や町ホームページへの掲載、連絡施設における運行ダイヤの掲示、観光シーズンにおけるSNSを活用した周知を図り、利用促進に努める。

【乗合タクシー】

登録や予約の方法等、利用方法を町ホームページ等を活用し周知し、利用促進に努める。

6) 目標・効果達成状況

【浦臼砂川線】

利用者の目標値である7,200人/年に対し、7,201人/年の利用者となり目標数値を上回った。

【乗合タクシー】

利用者の目標値である1,300人/年に対し、1,095人/年の利用者となり目標数値を下回った。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和7年度分と併せて評価)